

## 平成 27 年度周知広報活動の実施状況（上期分）

ユニバーサルサービス制度に関する周知広報活動の一環として、消費者団体への周知及び親子見学・説明会を実施した。実施概要は以下のとおり。

### 1 消費者団体への周知

消費生活センター、消費者団体等の参加する電気通信消費者支援連絡会（全国の 11 の総合通信局単位で 4 月～9 月の間に 1 回開催（予定含む））において、ユニバーサルサービス制度に関する資料の配布による周知を行った。

### 2 親子見学・説明会の開催

（1）主催：総務省 近畿総合通信事務所、（一社）電気通信事業者協会

協力：西日本電信電話株式会社、大阪市消防局

（2）日時：平成 27 年 8 月 3 日（月） 13：00～18：00

（3）参加者：大阪府内の小学 5，6 年生の親子 13 組 39 名が参加。

（4）場所・内容

#### ①説明会（約 30 分）

・場 所：国民會館（大阪府中央区）

・内 容：映像資料を利用した説明及び DVD 上映によりユニバーサルサービス制度について説明した後、参加親子との質疑応答を実施。

なお、本説明・見学会には、総務省情報通信審議会の長田 三紀委員（全国地域婦人団体連絡協議会事務局次長）も出席。

#### ②見学会（約 3 時間）

・ N T T 西日本関係施設

「とう道」の見学、「めがね型デバイス」及び「災害伝言ダイヤル 1171」の実演、「衛星通信車」及び「通信レスキュー車」の見学。

・ 大阪市消防局

119 番通信指令室を見学し、実際の通信指令業務について説明を受けると同時に質疑応答を行った。

(5) アンケート結果の概要 (参加親子の全組が回答)

- ・ユニバーサルサービス制度の存在自体は「知っていた」という回答が多いが、何がユニバーサルサービスの対象となっているか、その維持費用をユニバーサルサービス料で負担していることについては、「知らなかった」という回答が多い。
- ・「説明・見学会」全体の感想としては、ほぼ全員が「良かった」、「理解できた」との評価。
- ・見学施設・設備については、とう道ツアーの見学が一番高く、次いで指令情報センターの見学について関心が高い。
- ・「自由意見」では、  
「普段見ることのできない施設を見学でき、更に理解が深まった」、  
「ユニバーサルサービスや電話の仕組み等の説明を受けて、大変ためになった」、  
「普段あたり前と思っている日常生活が、たくさんの人々や見えな  
い設備に支えられていることを実感できた」、  
「本物(リアル)を体験出来たので有難かった」、  
「短時間で盛りだくさんでした。もっとゆっくり見たかった」

などの意見があった。